

きれい★プロの目

私はこうして
電気事故を防いだ!



延長コードをドアで挟んだ事による 被覆損傷、充電部露出

点検対象	一般家庭	点検地区	厚沢部町
きれいポイント	訪問したお客さまの分電盤は裏口にあり室内を案内され裏口へ。 その後、分電盤の点検を終え足元を見ると長期間放置されていると思われる延長コードがあり、これは使用していないものかと思ったのですが、念のため点検してみるとその延長コードは、使用通電されていました。 廊下から裏口へ入るドアに挟まれ2線共に被覆が剥がれ、充電部が露出しプラグ部分も家具のうしろで無理に曲がった状態でした。		

■事故概要と防止対策

現場の状況を案内していただいた息子さんに説明しました。親御さんの家ということもあり息子さんは延長コードの存在を知らずとても驚いておられました。

また説明だけでは心配なので延長コードをその場で撤去していただき、コンセント増設等本工事のお願いと、工事までの期間新しい延長コードの取り扱いや注意点を説明いたしました。

ドアの挟み込みにより2線共に同じ箇所の被覆が剥がれ、充電部が露出してしまっていたので出火の危険があり、裏口に設置されているボイラーの灯油を考えると確認したのは正解でした。



2線共に被覆が剥がれて
充電部が露出



以前、定期調査で大型重機の車庫兼倉庫でVVFケーブルをステップル止めしている箇所から出火し、車庫兼倉庫の半分を焼く火災を起こしたお客さまを訪問した経験から、一般家庭でよく見られる延長コードのステップル止め、ドアの挟み込み等をその時以来、より注意深く点検するよう心がけています。
あまり住宅内をキョロキョロ(・_・)(・_・)と見るのも不審がられますので、問診にて延長コード、ビニルコードの話題をするようにしています。

■技術者からのワンポイントアドバイス

入会数年目の私からアドバイスすることなどないのですが、お客さまが日頃から何気なく行っていることが、実は危ない事柄になっていることがあります。

そのような事柄を早期に発見し、電気の安全に興味を持っていただけるように解りやすくお伝えしていくことが定期調査の大きな役割です。定期調査終了後にお渡ししているパンフレットには、危ない事柄の例が記載されていますので、一読していただきたく思います。



函館支部調査課
藤田 和稔